

令和元年度 学校評価(後期) 職員による評価

4: 十分達成している 3: 達成している 2: あまり達成していない 1: 全く達成していない

1 「真摯に学ぶ生徒」にするために

(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させます。

	4	3	2	1	4+3	達成	前期
① 教師自身が指導内容について研究し、基礎的・基本的な知識及び技能の徹底を図ります。	65.2	34.8	0.0	0.0	100.0	○	100.0
② 反復学習、小テスト、ワークシート、パフォーマンステスト等、定着方法の工夫を図ります。	65.2	34.8	0.0	0.0	100.0	○	95.7
③ 深谷スタイルに基づき、生徒の特性を配慮した掲示や板書の工夫を図ります。	34.8	56.5	8.7	0.0	91.3	○	87.0
④ 学校総合支援員、中学校学習支援員を中核に、ステップアップレッスンの充実を図ると共に、放課後や長期休業中に基礎的・基本的な学習内容の補充学習を行います。	79.2	20.8	0.0	0.0	100.0	○	100.0

(2) 知識・技能を基に、アクティブラーニングで思考力、判断力、表現力等を育成します。

⑤ 教師自身が指導内容について研究し、思考力、判断力、表現力を育成します。	47.8	52.2	0.0	0.0	100.0	○	100.0
⑥ 各教科とも、アクティブラーニングを取り入れ、思考力、判断力、表現力を育成します。	52.2	47.8	0.0	0.0	100.0	○	95.7
⑦ 授業スタンダードや授業ベーシックを基盤に、レポート作成、推敲、討論・発表等を工夫し、思考力、判断力、表現力を育成します。	39.1	56.5	4.3	0.0	95.7	○	95.7
⑧ 生徒相互による「学び愛」「教え愛」活動を行い、思考力、判断力、表現力の育成します。	60.9	39.1	0.0	0.0	100.0	○	95.7

(3) 学習意欲を向上させ、学習習慣の充実を図ります。

⑨ 系統的なキャリア教育として、1年生での「座右の銘」、2年生での「職場体験」や「立志式」を中核にして夢やあこがれ、学ぶ意義の具現化を図り、生涯に繋がる学習習慣を育成します。	65.2	34.8	0.0	0.0	100.0	○	95.7
⑩ 「学びゲーショ」を活用し、学習習慣の確立を図り、家庭学習の充実を図ります。	26.1	69.6	4.3	0.0	95.7	○	78.3
⑪ 生徒による授業評価を実施し、R-P-D-C-Aサイクルを生かした授業改善を行います。	30.4	60.9	8.7	0.0	91.3	○	90.9

2 「心を磨く生徒」を育成するために

(1) 道徳や特別活動で「心を磨く生徒」を育成します。

⑫ 道徳や特別活動を主体に、キャリアの発達と豊かな人間性を育成し「心を磨く生徒」を育てます	39.1	56.5	4.3	0.0	95.7	○	91.7
⑬ 教師の話や友達の発表をしっかりと聞き、はっきりした声で発表できる生徒を育成します。	37.5	62.5	0.0	0.0	100.0	○	95.8
⑭ 生徒のキャリア発達を図り、希望と忍耐力を持って着実にやり抜く強い精神力を育成します。	33.3	62.5	4.2	0.0	95.8	○	91.7
⑮ 学校行事や体験活動を重視し、生徒の主体性や自律性を高めるとともに、団結力・協調性などを育成し、達成感を味わわせます。	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	○	95.8

(2) あいさつや無言清掃で「心を磨く生徒」を育成します。

⑯ 「時・場・礼」と「あいさつ日本一」の取組を推進し、「心を磨く生徒」を育成します。	62.5	37.5	0.0	0.0	100.0	○	95.8
⑰ 校内はもとより、地域でも積極的なあいさつを励行し、「心を磨く生徒」を育成します。	41.7	54.2	4.2	0.0	95.8	○	83.3
⑱ 無言清掃で心を磨く時間と位置づけ、勤労や奉仕に対する好ましい価値観を育成します。	54.2	37.5	8.3	0.0	91.7	○	83.3
⑲ 毎週月曜日を「クリーン MONDAY」とし、5分間の清掃に対する心構えの時間を特設し、心を磨く清掃活動を実践します。	47.8	43.5	8.7	0.0	91.3	○	95.8

(3) 生徒会活動や部活動で「心を磨く生徒」を育成します。

⑳ 生徒会本部や専門委員会を中心に、ありがとう運動など「心を磨く」活動を計画・実践します。	47.8	39.1	13.0	0.0	87.0	○	87.5
㉑ 福祉委員会が核となり社会福祉協議会と連携し、奉仕活動や公共の福祉の活動を実践します。	60.9	30.4	8.7	0.0	91.3	○	91.3
㉒ 「Happy Thursday」を通し、感謝の気持ちと、部活動規律を高めます。	45.8	45.8	8.3	0.0	91.7	○	87.5
㉓ 日々の練習を通し、チームワークや不撓不屈の精神や克己心等を育成します。	45.8	54.2	0.0	0.0	100.0	○	95.8

(4) 家庭・地域との連携で「心を磨く生徒」を育成します。

㉔ 家庭・地域との連携を密にし、基本的な生活習慣の確立させ「心を磨く生徒」を育成します。	33.3	62.5	4.2	0.0	95.8	○	79.2
㉕ 公民館運営審議会、青少年健全育成会議、自治会長会議等に参加し、健全育成に関し学校と地域の協力体制を向上させます。	27.3	59.1	13.6	0.0	86.4	○	86.4
㉖ 学校応援団や親父の会の安心安全支援部や花中サポートチームと協力し、青少年健全育成を図ります。	30.4	56.5	13.0	0.0	87.0	○	77.3
㉗ 家庭での正しいメディアの活用を図るため、HQCとメディアコントロールの取り組みを推進します。	54.2	41.7	4.2	0.0	95.8	○	95.7

3 「体を鍛える生徒」にするために

(1) 新体カテストの結果等を踏まえ、体カづくりの充実に努めます。

29	新体カテストの結果を分析し、生徒の弱点を洗い出し、その克服に努めます	39.1	60.9	0.0	0.0	100.0	○	95.5
29	体カ向上に向け、運動の喜びや楽しさを味わわせ、体力を高める授業の工夫をします。	54.5	45.5	0.0	0.0	100.0	○	100.0
30	部活動は、地域や各種団体との連携を工夫し、体力、責任感、連帯感等が涵養できるよう取り組みます。	62.5	37.5	0.0	0.0	100.0	○	100.0

(2) 意図的・継続的に健康・安全教育を推進します。

31	基本的な生活習慣を確立すると共に、養護教諭のT.Tによる健康教育の増進を進めます。	52.2	30.4	13.0	4.3	82.6	○	86.4
32	HQCやメディアコントロールを活用し、「安心ふっかネット」を遵守させ、心身の健康を推進します。	50.0	45.8	4.2	0.0	95.8	○	91.3
33	自転車の安全運転の徹底と部活動の適切な指導により、交通事故及び部活動事故の絶無を目指します。	41.7	58.3	0.0	0.0	100.0	○	95.7

(3) 「立腰教育」とあいさつの励行により、心と体を鍛えます。

34	授業の開始時に、腰骨を立て顎を引き、正しい姿勢で授業が受けられるよう指導を徹底します。	25.0	58.3	16.7	0.0	83.3	○	79.2
35	教室で絵図等を掲示し、立腰教育の見える化を実践します。	26.1	60.9	4.3	8.7	87.0	○	78.3
36	「あいさつ日本一」の取組を小学校、公民館、自治会と連携し、地域ぐるみの取組に広がります。	30.4	52.2	17.4	0.0	82.6	○	87.0

4 「信頼される学校」にするために

(1) 自己研鑽に励み、信頼される職員集団を形成します。

37	「深谷の子6つのちかい」を基盤に、夢とこころざしをもち、まごころ思いやりのある花園の子の育成に努めます。(夢・勉強・体験・あいさつ・くつろぎ・心のこもったことば)	25.0	70.8	4.2	0.0	95.8	○	91.7
38	学校研究課題に基づいた研究・研修を行うと共に、定期的に職員相互の授業参観を実施し、組織的な教育力の向上を図ります。	21.7	52.2	26.1	0.0	73.9		75.0

39	年間のシラバス(学習内容・計画・評価)を配布し、家庭との連携に努めます。	54.2	41.7	4.2	0.0	95.8	○	100.0
40	倫理確立委員会を中核に、適切な資料提供を行い、職員による事故の絶無を目指します。	58.3	41.7	0.0	0.0	100.0	○	95.8

(2) 組織マネジメント(R-P-D-C-Aサイクル)を活用し、信頼される学校を目指します。

41	学校運営協議会委員・生徒・保護者・教職員による学校評価を実施し、ホームページ等で報告するなど学校の説明責任を果たすと共に、計画的・組織的に改善策を講じます。	65.2	34.8	0.0	0.0	100.0	○	95.8
42	教師による花園中・教育公約の評価を年2回行い、R-P-D-C-Aサイクルによる学校教育目標の実現を図ります。	58.3	41.7	0.0	0.0	100.0	○	95.8

(3) 地域連携を積極的に推進し、開かれた学校づくりを推進します。

43	自治会長、民生委員、児童委員、更生保護女性会、学校応援団等との連携を深め、地域と連携した教育を推進します。	34.8	65.2	0.0	0.0	100.0	○	86.4
44	学校だよりやPTA新聞等を適時発行し、学校の教育活動や生徒の様子を家庭・地域へ発信します。	69.6	30.4	0.0	0.0	100.0	○	100.0
45	生徒の個人情報に配慮しつつ、学校だより、ホームページを随時更新し、適切な情報発信に努めます。	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0	○	95.7

(4) 教育環境を整備し、安心・安全な学校づくりに努めます。

46	定期的な安全点検により危険箇所を根絶し、危機管理マニュアルによる安心・安全な学校づくりに努めます。	66.7	29.2	4.2	0.0	95.8	○	100.0
47	「緊急連絡ページ」の運用率100%を目指し、危機管理を徹底します。	13.0	69.6	17.4	0.0	82.6	○	86.4
48	PTAや学校応援団の協力により、年2回の環境整備を実施し、教育環境を整えます。	37.5	50.0	12.5	0.0	87.5	○	100.0
49	防災マニュアルを見直し、直下型地震や竜巻・暴風雪等に備えた実践的なものにします。	58.3	33.3	8.3	0.0	91.7	○	95.7
50	いじめ防止対策委員会を中心に、日々の情報収集を行い、いじめの絶無を目指します。	54.2	45.8	0.0	0.0	100.0	○	100.0